

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上は前年比110%、乗客数も108%と好調をキープしている。新製品を続々と投入しているが、今まで売れていた物、なじみのある物、安心して買える物が良く動いている。
	やや良くなっている	スーパー（統括）	販売量の動き	・サラダ油や即席めん等、値上げ前の買いだめの傾向がある。日配品等日持ちしない食品や生鮮食品はそうでもないが、加工食品等は顕著に伸びている。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・景気は建築基準法改正以来ずっと悪いが、建設投資の問い合わせ等、動きが多少出てきている。
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・液晶ハイビジョンテレビが売れている。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・お歳暮の受注期と快気祝い等のギフト商品が一番出る季節だが、1人当たりの消費量が減少している。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・偽装問題や値上げ報道等、食に対するマイナスイメージがあったが、前年実績はクリアしており好調に推移している。お歳暮ギフト、おせちについても前年はクリアしているが、衣料品関連はヒット商品がなくセール待ちが見られ、厳しい状況である。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・冬物衣料は、ジャケット、コート中心にアウターが好調に推移し、インナーも保温発熱素材が好調を維持している。ギフトはボーナスの遅れでピークが1週ずれたが、地元特産をはじめとした産直ギフトが人気で、ハムは前年同期比125%となっている。調味料類は不調である。野菜相場は平年並みだが、果物はみかんが昨年の半値で苦戦している。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・高収入や安定収入がある客は、高品質な高額品を購入する傾向があり、客単価は前年比30%増加している。一方で買い控えをしている客も多く、購買客数は約5%減少している。
		乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・販売店数軒で、売行き動向について話をする機会があるが、どの販売業者もこの12月は例年に無く悪い状況だという話ばかりである。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・例年に比べ宴会の数が減り、規模も小さくなっている。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・毎年入っている貸切パーティーの予約が全然入らず心配していたが、結果を見ると去年と売上は変わらない。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・客室稼働率が9月より前年割れしており、市内産業の鈍化が目立つ。
		旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・海外ツアー商品の販売量が減っており、その分国内ツアーに移行しているが、単価が低い。
	タクシー運転手	それ以外	・利用客が少ないため、今回のタクシー料金の値上げを見送っている。	
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・例年より賞与がアップした客が多く、一時的な消費は高まっている。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・主力商品の通信が1月に開始となるが、そのような高いものは必要ないということで抑えられ、販売数は目標の3割という非常に低調な動きを示している。	
	ゴルフ場（従業員）	お客様の様子	・サービスデーの来客数は見込めるものの、通常料金デーの売上が伸びないため、売上は横ばいである。	
競輪場（職員）	お客様の様子	・来客者数、購買単価等、減少傾向である。		
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅展示場や現場見学会への来場者が激減し、受注に結び付くような見込み客情報が取得し難くなっている。		
やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・近郊の商圏に大型ショッピングセンターがオープンしたことにより来客数が低下し、物価の上昇による影響で客単価も下がってきている。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・歳末の雰囲気は全くなく年末福引の抽選券も配布された分が余ってしまう状況で、商売を辞めてしまいたいという声もある。	

	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・11月は防寒、冬物衣料の動きが回復したが、12月に入った途端、来客数が非常に落ち、アパレル関係を中心に極度な不振に陥っている。ボーナスの支給日のずれ、ガソリン、灯油、食材等の値上げが消費者のマインドを低下させ、買物需要が低下している。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・衣料品、食料品共に販売点数がかなり下がっている状況で、販売量についても減少という形で推移している。
	スーパー（販売促進担当）	それ以外	・3か月前に比べ売上は改善しているが全く利益が取れない状況である。12月は例年利益を取れる月なので異常である。物価上昇で購買意欲が下がるなか、逆に値下げや販促に掛ける費用がかさんでいるのが主要因である。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売台数が前年比70%で、月ごとに低下している。
	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・消耗品の動きは低価格品を中心に平年並みであったが、灯油の価格高騰の影響により、暖房用品、電化製品の動きが伴わなかった。
	高級レストラン（店長）	販売量の動き	・忘年会の予約が極端に少なく、前年を大きく割り込んでいる。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・原油高、諸物価の高騰により消費者の金遣いが非常に悪くなっている。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・忘年会シーズンだが宴会数が減少し、フリー客もかなり少なめである。二次会をする人もほとんど見かけず、お酒を飲む人が激減している印象である。
	旅行代理店（経営者）	それ以外	・燃料を中心として物価がじわじわ上がるなか、収入は増えずむしろ前年と比べて落ちており、景気は上向いていない。
	旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・忘年会シーズンで宿泊客が大きな収入源であるが、昨年と比べ宿泊回数や規模が小さくなっている。特にコンパニオンを入れたりする派手な忘年会がなくなって来ている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・年末の繁忙期にもかかわらず飲食店からの依頼数が落ち込んでおり、遅くまで飲み歩く人の姿も少ない。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・12月は夕方から深夜にかけて一年で一番忙しい月なのだが今年は動きが悪く忘年会も少ないせいか、深夜の客の動きが減少している。運賃が値上げになったが、売上は前年同月と比較し少しマイナスであった。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・近隣にリニューアルオープンした競合他社があり、そこへ客が動いている様子であるが、全体の来客数は当社並びに競合他社の数字を合わせても若干減っている。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・個人住宅の設計依頼や企業からの依頼の件数がない。周りの雰囲気も活気がなく、暗い。ここまで来れば年明けからに期待するしかないが、新規の物件依頼が出てくるかどうかの見通しもない。
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・事業ベースの案件は動きが出てきているが、かなりの格差があり、良い企業はより業績を伸ばし、悪いところは資産売却する傾向にある。一般顧客については動きがない。
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・ガソリン、灯油等すべての物価の値上がりで客が警戒しており、購買意欲が落ちている。人出も非常に悪くなっている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・隣接商店街に食品スーパーがオープンし、当商店街の食品スーパーも対応して販売合戦をしているが、個店には客が少ない。
	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・とにかく人の動きがない。
	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・歳末だが、商店街を歩く客はまばらである。商売は何とか電話での注文があるが、フリー客はほとんど無いというのが現状である。
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・年末を迎えこの時期に来客数が減少し、前年比90%台と厳しい状況で、客単価も低下している。
	住関連専門店（店長）	来客数の動き	・売上は前年比90%、来客数は前年比88%と非常に厳しい状況である。
	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・周囲に新規店が増え続け、得意客が新規店に流れており、同業者からは厳しいという声を聞く。

		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・家族旅行が例年より30%悪い。
		観光名所（職員）	販売量の動き	・全国的に住宅の新規着工件数が減っているという流れを受けて別荘の販売も非常に低調である。
		その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・物価が上がり、余計なお金を使わない傾向があり、車の修理は最低限の修理となっている。運送会社等、車に関連する各社は事業経営が厳しく、車にお金を掛けない状況になってきている。
		設計事務所（経営者）	それ以外	・建築確認申請の審査に時間が掛かる状態で仕事が進まず、それゆえに入金も遅れ、やっていけなくなる企業も出てくる。
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・良い物件の売り手がなく、買い手も少なくなってきた状況で建て売り住宅の売行きは良くない。北関東の不動産の仲介業者は非常に仕事がなくなってきた。
企業 動向 関連	良くなっている			
	やや良くなっている		-	-
	変わらない	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月は仕事量もまずまず確保し、問題なく推移している。1月は工場の稼働が悪くなるが、機械のメンテナンスなどをしてしのぐつもりである。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・各社からの年内納入の要請に対して残業時間を増やし対応しており、売上金額は前年同月比約10%プラスで推移している。
		その他製造業 〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・小規模事業所や店舗用の一般汎用機の売上が横ばいで、仕入経費だけが上がり続けている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・物的には現在の燃料高による石油暖房商品の落ち込みの反面、電気暖房器がそれ以上に伸びている。
		社会保険労務士	取引先の様子	・取引先においては介護関係と派遣業の調子が良いものの、その他の事業所は相変わらずぱっとしない。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	取引先の様子	・原油高、サプライズ問題等が続き、客に動揺が広がり、情報化投資に不透明感が始まる、予算の絞り込み、投資の縮小が始まっている。
	やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・今月、とうとう大豆が4割ほど値上げしたが、大手スーパーでは思うように値上げができておらず、このままでは確実に赤字になる。資材値上げ分が売上の10%を占めているため、相当厳しくなる。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・どん底と思われる景況は、一段と深みに入ったような状態である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・今まで来ていた注文は海外に転注され、我々に来る注文量は大幅に減少している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要客からの受注量が減少している。
		金融業（店長）	それ以外	・最近の原油高の影響により、仕入高という形で収益が圧迫されている企業が多い。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・特に製造業において原材料の値上がりなど原油高騰の影響が出ている。また、景気の先行きに対する不透明感の増大により、漠然とした心理的な不安感が増幅している。
		金融業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・燃料費、コピー用紙の値上げが今月から始まり、しかも大幅な値上げであったため、他で切り詰めても経費支出が増えた。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は93.6%となり、7月以降6か月連続して前年を下回った。チラシサイズは小型化し、1回当たりの折込枚数も減少している。地元企業の格差が大きくなったとの話も聞く。県外、海外などを相手にする会社の好調さに比べ、地元相手の会社では年末にきて、体力的に限界に至るところも出ているとのことで、経済の冷え込みの深刻さがうかがえる。
	悪くなっている	食料品製造業（営業統括）	取引先の様子	・大河ドラマによる影響で来客数や売上金額の増加が期待されたが、ガソリン価格の高騰により来客数は減少し、売上数量、金額共に前年をかなり下回る結果となった。更に輸入ワインに押され、低価格帯から高価格帯に至るまで国産品の伸びは低迷している。

		<p>その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)</p> <p>建設業 (総務担当)</p>	<p>受注量や販売量の動き</p> <p>受注価格や販売価格の動き</p>	<p>・クリスマスセールも今一つで、売上は3か月連続で前年比ダウンである。</p> <p>・直近決算での公共工事比率は前年比84%であった。民間ウェイトを高めたいものの新規開拓は難しく、受注競争は相変わらず安値での競り合いになっている。弱肉強食だけでは、建設業産業がほとんど倒れてしまうおそれがあり、発注側は、建設業が崩壊する前に公共事業のあり方を再度検討する段階にきている。</p> <p>・プライダル業界での競争が激しい。特に値引きの金額が相当大きくなっており、最近、経営が厳しいという施設の話も聞く。</p>
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社 (経営者)	周辺企業の様子	<p>・年末までは特に商店、スーパー、飲食店など、接客に関する企業のパート、アルバイトの求人広告は多かったが、年が明けると極端に少なくなる。</p> <p>・今年は前年同期と比べても直接求人が減少している上、学生の就職活動への消極姿勢がプラスされ、全体的に大きな変化は感じられない。</p>
		学校 [短期大学] (就職担当)	求人数の動き	<p>・新規に開店した店舗も、開店前は広告が出ていたが、開店後は非常に低迷しているようで動きが悪い。</p> <p>・特に100人未満の中小企業からの新規求人の減少が大きく、新規求人、有効求人共に前年同月及び前月を下回っている。</p> <p>・有効求人数が3か月連続で、新規求人数が5か月連続で前年比マイナスとなっている。</p> <p>・11月の新規求人数が前年同月比を割り込み、4か月連続で前年比で減少となっている。</p>
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社 (経営者)	求人数の動き	<p>・あまり人の動きがなく、求人数はやや細くなっている。サービス業関係の警備や販売の募集は活発さが見られた一方、製造業全般については求人、採用者共に動きがない。</p>
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	
	悪くなっている	職業安定所 (職員)	求人数の動き	
		人材派遣会社 (経営者)	採用者数の動き	